

土 合 中 学 校

1 研究主題

「ICT機器を活用した授業の充実」

～情報活用能力の向上をめざして～

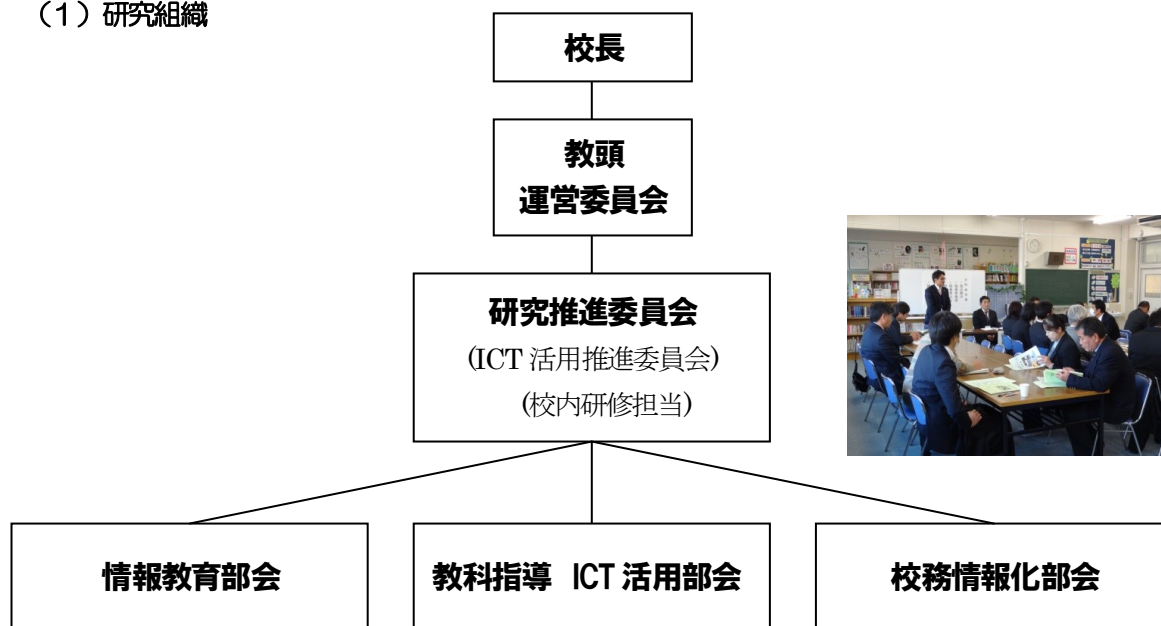
これからの時代の「生きる力」には、情報活用能力が不可欠である。情報活用能力を育成するため、上記主題を設定した。

- (1) 基礎学力を定着させるために ICT 機器の活用に取り組む。
- (2) 情報活用能力を習得させるために ICT 機器の活用に取り組む。
- (3) ICT 環境の整備と校務の効率化に努める。

以上の三点を重点課題とし、それぞれ研究部会を立ち上げ課題解決に向けて取り組む。

2 研究内容

(1) 研究組織



(2) 研究の進め方

① 情報教育部会

研究の主題：情報社会における情報機器の効果的な活用と判断力の育成
～情報モラルの育成～

主題設定の理由

生徒が、インターネット等から情報を得る、または発信する際に、社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響力を理解すること、情報モラルの必要性や情報に対しての信頼性と発信する際の責任について考える「情報社会に参画する態度」の育成に取り組んだ。

研究の仮説

デジタルコンテンツや ICT 機器を活用することによって、具体的な事象を体験させ、生徒が活動や課題に対して意識、意欲が高まると考えられる。生徒の意識や意欲が高まることで、危機回避能力や情報モラルが身に付き、情報社会に参画する態度が育成できると考えた。

研究の方法

- ・実技研修会：ワイヤレス・ペンタブレット、実物投影機を授業に導入するための研修
- ・学習指導案の作成
 1. 授業実践①【道徳】「インターネット社会のコミュニケーションについて考えよう」
 2. 授業実践②【技術・家庭科】「情報の信憑性」
 3. 公開授業【技術・家庭科】「その情報、大丈夫？」



ワイヤレス・ペンタブレット



掲示板の活用

② 教科指導 ICT 活用部会

研究の主題：各教科等の目標を達成するための効果的な ICT 機器の活用

主題設定の理由

生徒にわかりやすい授業を行うために、ICT 機器を授業の中で活用していくことを考えた。ICT 機器を効果的に活用し、各教科における授業での目標の達成を容易にしようと考え、上記の主題を設定した。

研究の仮説

ICT 機器を活用することにより、五感に訴える授業を行うことで、生徒が授業での目標の達成が容易になると考えた。さらに、ICT 機器を生徒が発表などで使用することで、考え方や知識を共有する場面において、大きな効果を発揮すると考えた。

研究の内容（教科指導等の ICT 活用の実践例）

【国語】「プレゼンテーションをしよう」

活用機材：実物投影機、大型デジタルテレビ

【国語】「敬語」

活用機材：大型デジタルテレビ

【社会】「弥生文化と邪馬台国」

活用機材：実物投影機、大型デジタルテレビ

【社会】「世界から見た日本の気候」

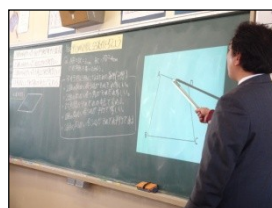
活用機材：ノートパソコン、表計算ソフト（自作教材）、大型デジタルテレビ

【数学】「連立方程式」

活用機材：STB、プロジェクタ

【数学】「比例 座標とグラフ」

活用機材：大型デジタルテレビ



- 【理科】「化学変化と原子・分子」活用機材：ノートパソコン、大型デジタルテレビ
- 【音楽】「日本の音楽に親しもう」活用機材：ノートパソコン、大型デジタルテレビ
- 【技術・家庭科】「洗濯の方法を学ぶ」活用機材：ビデオデッキ、大型デジタルテレビ
- 【保健・体育】「保健分野 生殖」活用機材：プロジェクタ、大型スクリーン
- 【英語】「プログラム5」デジタル教科書活用機材：ノートパソコン、大型デジタルテレビ
- 【道徳】「ブタの集団 公正・公平」活用機材：ノートパソコン、大型デジタルテレビ
- 【学校保健委員会】「薬物乱用防止」活用機材：ノートパソコン、プロジェクタ、スクリーン

③ 校務情報化部会

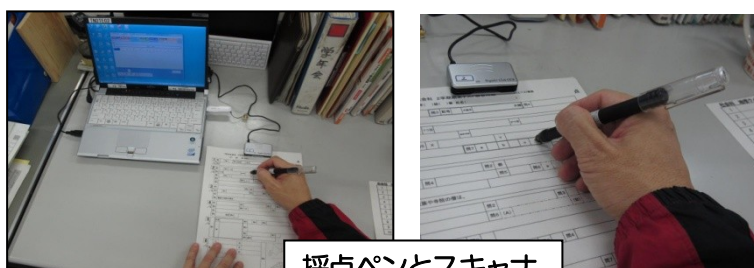
研究の主題： ICT 機器を使用した校務の効率化
 ～ICT 環境の整備から生まれる、きめこまやかな指導～

主題設定の理由

本校では、校務の中でもテスト作成及び成績処理に主眼をおき、ICT 機器を用いてテスト処理を効率化させようと考え、ICT 機器の活用を浸透させることから始める必要性を感じ、環境整備を行う必要があると考えた。

研究の仮説

ICT 機器の環境を整え機器やソフトを利用し、効率化を図ることにより、教員が生徒と接する時間が増え、きめ細やかな指導ができるようになると考えられる。



採点ペンとスキャナ



3 成果と課題

「教育の情報化」を推進する目的として、教員のスキルや意識の向上、生徒の基礎学力の定着、情報活用能力の習得を目指して研究を進めてきた。3つの部会を設けることで、「情報教育」「教科指導 ICT 活用」「校務情報化」の専門性に特化した形で研究を行った。「情報教育」部会では、生徒に情報収集や情報活用における技能面においては申し分のない成果を出すことができた。情報モラルについても知識としてみれば十分に理解させることができた。「教科指導 ICT」部会では、基礎学力を定着させるための授業での効果的な活用事例を蓄積することができた。「校務情報化」部会では、成績処理の一元化、ICT 機器の再配置、作問や採点の効率化を実践し、校務の効率を高めることができた。

情報社会において世の中の変化が激化している中で、教員が最新の知識や技能を身につけるために ICT 研修を充実させる必要があること、基礎学力を更に効率よく定着させるために ICT 機器の使い方を工夫していかなければならないこと、校務を効率的にするために、今以上に環境面を整備していかなければならないこと等について改善の必要性を感じた。今後も課題を解決するために、研究を継続して進めていきたい。